

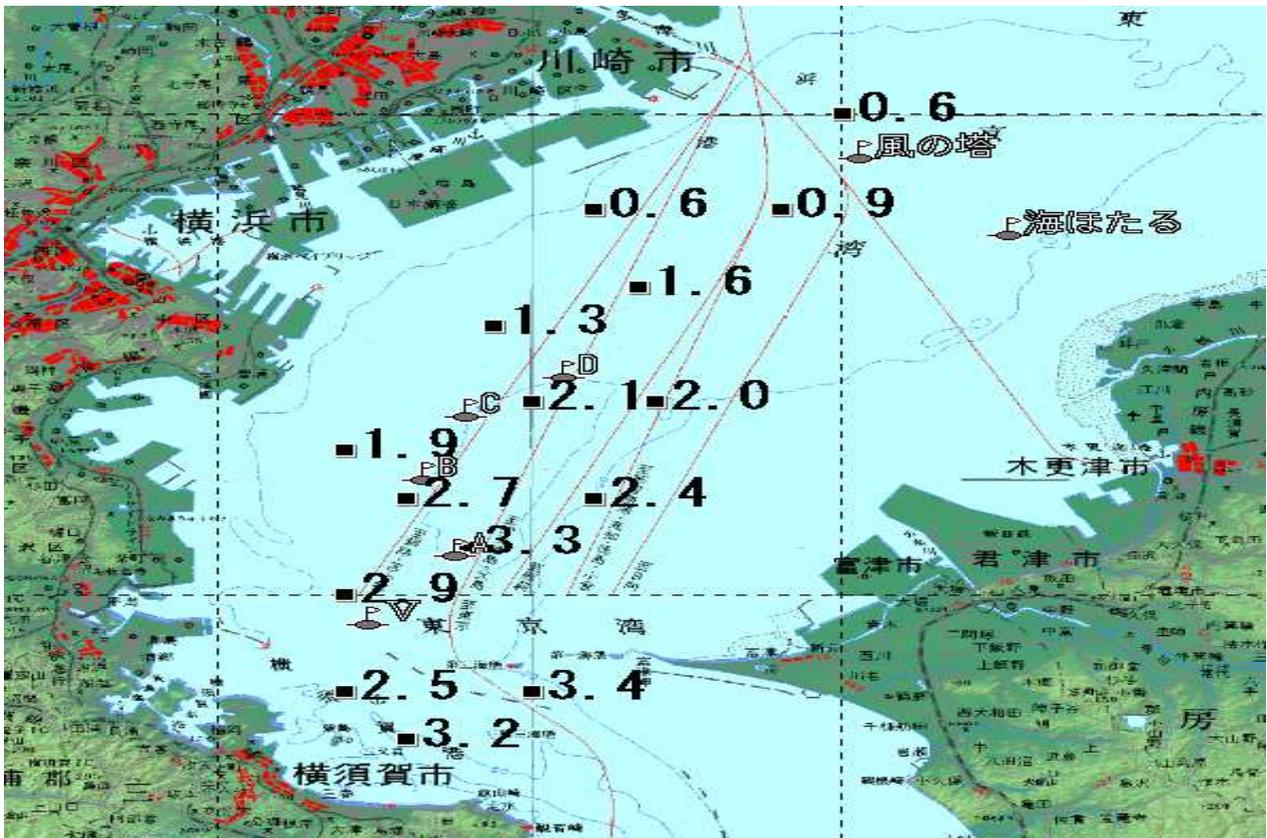
中ノ瀬の南ではミズクラゲが多くみられました。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター
2006/07/12

神奈川県あなご漁業者協議会が横浜市漁協柴支所の
柴義丸により東京湾調査を実施しました。
当所の漁業調査指導船江の島丸も調査を行いました。

- 水温は、表層で 21~24℃ 台、底層で 15~17℃ 台と、水温差が 5 ~ 8℃ 程度あります。
- 貧酸素水塊 (≦2.5ml/l) は B ブイ付近まで広がってきました。
中ノ瀬の上でも底層の溶存酸素量が低くなっています。
- 表層の塩分は低めですが、中ノ瀬の西の底層には外洋からの高塩分水が入っています。B ブイよりも南では、中層の溶存酸素量が低くなっています。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部
電話 046(882)2313

貧酸素水塊が広がってきました。
表層と底層の水温差も大きくなっています。
漁獲物の取扱にご注意下さい。